

しょくいく

食育だより



いっしょ た
一緒に食べよう！

毎月19日は
食育の日

コミュニケーションを
図ることができる



たの
楽しく食べることができる

規則正しい時間に食べる
ことができる

食事は単に栄養をとるだけでなく、その日の出来事を話し合うなどコミュニケーションの場としても重要です。また、家族や友達など誰かと一緒に食べること(共食)で、食事マナーや料理についての关心や、苦手な食べ物に挑戦しようとする意欲も高まります。ほかの地域での食事は、その地域の行事食、郷土料理など食文化を学ぶ場にもなります。

何よりも、みんなで一緒に食事をすることで、楽しく、おいしく食べることができます。



きょうしょく
～共食のすすめ～

かてい
家庭

一緒に食べるだけでなく、食材を買いに行ったり、調理したりと食事の準備から子どもとの関わりを増やしていくことも大切です。

鍋ものなどみんなで分け合える料理を作ったり、休日やイベントなどを活用して集まる機会を増やしたりすると、楽しみが増えますね。



令和7年度より食物アレルギー対応が一部変わります

1. 大豆除去食について

むきえだまめ・豆乳を加える前の最終調理段階で取り分けることができる場合に、大豆除去食を実施します。(むきえだまめ・豆乳のみ)
※えだまめ・豆乳のどちらかだけに症状が出る場合も「大豆アレルギー」として対応します。



2. 食物アレルギー献立表について

・さばに関する表記について

食物アレルギーの症状誘発の原因になりづらく、基本的に除去不要の食品の表記に、「■さば」の表記を追加します。(■さば:だしに使用するけずしぶし)
※さばにアレルギーがある場合も、「■さば」の表記がある食品は提供可能です。



・魚卵に関する表記を削除します。

※アレルギー申請の際は、「魚卵」ではなく、「いくら・ししゃもの卵」等、除去すべき食品が明確にわかる申請をお願いします。

★食物アレルギー対応は、医師の診断をもとに学校での対応を決定します。
詳細は学校へご相談ください。

がっこ
学校

みんなで給食の配膳や後片付けを協力し、
自主的な活動をすることができます。
また、楽しい雰囲気の中で食べ
ることで、豊かな人間関係を
育みます。



ちいき
地域

地域の行事と食には深い関わりがあり、
食文化を学ぶ場でもあります。
地域の行事に参加してみましょう。

